

平成26年度事務事業評価シート		該当事業(評価対象外事業は基本情報のみ記載)		
		一般事務	公共建設事業	評価対象外事業
事務事業名	観光振興事業			
予算科目	7 款 1 項 4 目			
総合計画での位置付け	産業の振興～もりもり元気なしごとづくり～ 観光の振興			
所管課情報	担当課: 経済雇用戦略課		電話番号(内線): 572	
記入者情報	所属長: 靄岡 正直		担当責任者: 大谷 基文	
事業の性格	法定事務			
実施期間	【開始年度】平成 18 年度 【開始年度】設定なし			
事業の対象	観光協会・市内観光関連業			
根拠法令等	伊予市観光協会事業費補助金交付要綱			
事業の目的	・観光資源・施設等を活用した観光イベントの運営体制の整備と地域の経営効果の向上を図る。・地域資源を活かした観光の振興を図る。			
事業の内容	・愛媛県緊急雇用対策創出事業の補助を受け、観光ボランティアガイドの養成を図る。・愛媛県大阪事務所において、伊予市観光物産フェアを開催する。・観光パンフレットを作成し、観光PRに努める。			
改善策の 具体的 取り組み (当初)				
改善策の 具体的 取り組み				

事業費及び財源内訳					
項目		25年度決算	26年度予算	9月末の執行状況	26年度決算
事業費	直接事業費	4,054	11,303	5,300	10,594
	人件費	3,416	4,692	1,173	4,692
	合計	0	15,995	6,473	15,286
人件費 内訳	人工数	0.42	0.59	0.30	0.59
	人件費単価	8,135	7,954	3,977	7,954
	補助事業人件費	0	0	0	0
	人件費	3,416	4,692	1,173	4,692
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他	1	1	0	0
	一般財源	7,469	15,994	6,473	15,286

事業活動の実績(活動指標)					
項目	単位	25年度実績	26年度予定	9月末の実績	26年度実績
観光ボランティアガイド利用者数	人	574	700		
観光物産フェアの入り込み客数	人	3020	10000		11556

向こう5年間の直接事業費の推移						
年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	5年間の実績
	11,600	11,600	11,600	0	0	34,800

成果指標				
成果指標	観光物産フェアの入り込み客数			
指標設定の考え方	観光物産フェアの開催により大阪に伊予市をPRする。			
区分年度	25年度	26年度	27年度	目標22年度
目 標	4100	10000	0	0
実 績	3020	11556	0	0

自己評価				
自己評価 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	4	
		市の関与の妥当性	4	
	有効性	事業の効果	4	B
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	4	
	効率性	手段の最適性	4	B
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	本年度は、観光物産フェアを愛媛県のうまいものフェアと合わせて大阪のダイキなんば店で実施したことにより、より多くの来場者があり、伊予市のPRが図れた。伊予市の観光及び物産を通して、伊予市の情報を発信し、交流人口を増やしていく。			

一次評価				
一次評価 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	4	
		市の関与の妥当性	4	
	有効性	事業の効果	4	B
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	4	B
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	観光物産フェアを大阪のダイキなんば店で実施し、多くの来場者があり効果があったと思われる。伊予市の情報を発信し、交流人口を増やしていくためにも、内容を工夫するとともに、より有効な方法についても検討していく必要がある。			

二次評価	
二次評価 (所属部長)	一次評価結果のとおり事業継続と判断する。
意見、課題	

行政評価委員会の答申

外部評価
(行政評価委員会)

経営者会議の最終判断

事業の方向性

現状のまま継続する。

意見、課題